

森を育む人づくりサポート体制整備事業

安藤 努・本田美香・角屋圭祐

「みえ森と緑の県民税」を財源に「森を育む人づくりサポート体制整備事業」として、次の取組を行った。

1. みえ森林教育ビジョン推進事業

(1) 森林教育イベントの開催

「森林と私たちの暮らし、経済がともに持続可能で豊かな社会」の実現に向けて、森林教育と言う視点から私たちに何ができるかを考えるとともに、関係者のネットワークを構築するため、「みえ森林教育シンポジウム」を開催した。

◆第2回みえ森林教育シンポジウムの実施

「地域とともに進める森林教育」をメインテーマに、第1部では幼児教育・保育、学校教育・森林教育指導者の2つのセクションに分かれて、テーマ別のワークショップを開催し、実践者による事例発表を踏まえた意見交換や交流会を行った。また、親子で参加できる木工体験講座を行うとともに、第2部では、高知県立牧野植物園園長の川原信夫氏による基調講演と森林教育のスペシャリストの方によるトークセッションを行った。

(2) 森林教育プログラムの展開

みえ森林教育ビジョンの実現に向け、子どもから大人まで一貫した森林教育体制を構築するため、年代に応じた森林教育を実施した。

◆子ども向け講座の実施

小学生の子どもたちを対象に、森や木、林業についての関心を高揚し理解を促進することを目的に、「ジュニアフォレスター育成講座」を開催した。

(参加人数：12名)

◆指導者向け講座の実施

子どもたちの健全な心身と森林・林業への関心、愛着を図るため、県内の森林をフィールドとして子どもの「生きる力」を育む体験活動を展開できる指導者を育成することを目的に「森林をフィールドに子どもの生きる力を育む指導者養成講座」を開催した。

(参加人数：10名)

◆学生向け講座の実施

教育・保育等の分野に携わろうとする学生を対象に、森林教育についての理解を促進することを目的に「みえ森林教育 学生ワークショップ」を開催した。

(参加人数：8名)

◆企業向け講座の実施

県内に本社・事業所等を置く企業を対象に、自社の経営活動や商品開発、社会活動、オフィス環境の整備といった様々な取組やビジネスに森林や木材の要素を取り入れてもらうことを目的に「SDGs時代の企業における森林とのつきあい方について考える」をテーマとした講座を開催した。

(参加人数：7社11名)

◆大人向け講座の実施

森林教育の裾野の拡大を目的に、森林や木材が暮らしや経済に当たり前に取り入れられる社会づくりについて考える「森のサイエンスカフェ」を開催した。

(参加人数：11名)

◆幼児教育等関係者向け支援

未就学児を対象とした保育、幼児教育を行う現場での森林教育の取組を支援することを目的に、県内4か所の保育園等にみえ森林教育アドバイザーを派遣した。

(派遣箇所数4か所、派遣回数延べ12回、参加人数：保育士等延べ67名、園児延べ85名)

◆小学生向け冊子の発行

小学校学習指導要領に対応した小学5年生社会科、小学6年生理科のワークブック(児童用、教員用)を県内の対象学年の小学生全員に配布するとともに、関連する動画を作成した。

また、小学5年生社会の教科書の副読本として、森のはたらきや緑の循環、木材利用の意義、県内各地域の森林・林業の特色などを解説した冊子を作成し、県内の小学5年生全員に配布した。

2. みえ森づくりサポートセンター運営事業

学校や地域で実施される森林教育や森づくり活動にかかる総合窓口となる「みえ森づくりサポートセンター」を運営し、森林教育や森づくり活動に対する、広域的・総合的なサポートを行った。

(1) 森林教育指導者や学校関係者を対象とした養成講座の開催

森林教育の推進に向けた指導者養成講座及び学校教育関係者を対象とした講座を実施した。
(実施回数11回、参加人数：159名)

(2) 森林教育指導者等への活動支援

森林や自然環境に関する学習の指導者を「森のせんせい」として登録し、「森の学校」などの実践の場を設けるとともに、「森のせんせい座談会」を開催し森林教育者のネットワーク構築を図るなどして、森林教育指導者等の活動を支援した。

(3) 学校現場における森林教育の支援

市町、学校、保育所等における森林教育を支援するため、要望に応じ指導者の紹介やプログラム提案を行う「森林教育出前授業」や「森林教育コーディネート」を行った。

(森林教育出前授業実施回数：11回)

(森林教育コーディネート件数：44件)

(4) 森の写真教室及びみえの森フォトコンテストの実施

写真撮影を通じて森林や木に親しみ、その大切さを知っていただくため、「三重の森林」をテーマに、「第10回みえの森フォトコンテスト」や小学生とその家族を対象とした「こども森の写真教室」を開催した。

(第10回みえの森フォトコンテスト応募人数：133人、応募数280点)

(こども森の写真教室参加人数：5組12名)

(5) 森づくり活動の支援

地域における森づくり活動をさらに活発化するため、安全・安心な活動に向けた森づくりに関する「森づくり活動支援講座」や、森林を育む意識を醸成し、県民参加の森づくりを推進することを目的に「自然と人が調和する植樹祭 in 青山ハーモニー・フォレスト」を開催した。

(森づくり活動支援講座参加人数：8名、植樹祭：参加人数：43名)

(6) 森林教育・森づくり活動に関する相談対応・情報提供

森林教育活動事例集や季刊誌森林づくりニュースの発行や、ホームページなどを通じて、森林教育に関する情報発信をした。

3. みえ森林教育ステーション整備事業

(1) 三重県民の森「みえ森林教育ステーション」の運営

三重県民の森「みえ森林教育ステーション」において森林教育の推進、ステーションの運営・管理、利用上の安全管理及び感染症対策等の業務を行うことを目的に、三重県民の森の指定管理者と業務委託契約を締結し運営を行った。

(2) みえ森林教育ステーションの認定と活用支援

◆みえ森林教育ステーションの認定

森林や木、木材の魅力に触れることができ、森林教育を展開できるスペースを有する施設を「みえ森林教育ステーション」として認定した。

(認定件数：15件)

◆みえ森林教育ステーションの活用支援

みえ森林教育ステーションの認定には、複数人が一度に利用できる県産材の遊具や床(4㎡以上)の設置、木製玩具や森林・林業に関する絵本・図書の常設、森林教育活動の実施等が基準となっているため、必要に応じてそれらの物品等を貸与する「みえ森林教育ステーション整備支援事業」に取り組んだ。

(3) 三重県林業研究所における「みえ森林教育ステーション」の整備

樹木図鑑園を木とふれあい、樹木について学ぶための「みえ森林教育ステーション」とするため、観察歩道を整備した。